



人生に近道なし 遠回りするのも また良し！

沼津市教育長 奥村 篤

メジャーリーグの開幕戦が6年ぶりに日本で行われました。ドジャースの大谷選手、山本投手、佐々木投手、カブスの鈴木選手、今永投手とたくさんの日本人選手のプレーをワクワクしながら観戦された方も多かったと思います。私もその一人で、とりわけ、昨年歴史的な大記録 50-50 を達成した大谷選手の第2戦における第1号 HR には歓喜の叫びとともに、今期はどのような活躍を見せてくれるのか大いに期待が膨らみました。



大谷選手の名言に「人生が夢をつくるんじゃない！夢が人生をつくるんだ！」という言葉があります。大谷選手が高校生の時に目標達成シートの余白に書いた言葉だそうです。確固たる夢を持ち、決して諦めずにその夢に向かって突き進む力強さを感じる言葉です。

沼津市教育委員会では「誇り高い沼津を創造する 貴き志を持つ人づくり」を掲げています。変化が激しく予測が困難な現在の世の中、常に計画どおりに進み続けることは容易ではありません。時には立ち止まって心を休めることも必要です。大谷選手はこうも言っています。「無理だと思わないことが最も重要。無理だと思ったらそれで終わりです」。夢に到達する道は真っすぐではありませんし、一つだけではないと思います。じっくりと考え、人と意見を交わしながら、想定外の出来事や多様化する価値観などに柔軟に対応しながら乗り越えていくことが大切です。

今年は「巳年」です。蛇は、ゆっくりとしなやかに曲線を描きながら進んでいきます。子供たちには、蛇のように「柔軟性をもってしなやかに」人生を切り開く力を育ててほしいと願っています。そのことが、未来を担う子供たちの「ウェルビーイング」の向上につながり、やがては家



庭や地域、社会に「ウェルビーイング」が広がっていくものと信じています。

かつて、私が中学校3年生の学級担任をさせていただいた頃、卒業アルバムに記した言葉を思い出しました。

「人生に近道なし 遠回りするのも また良し！」

面接相談 & 電話相談

◎非行・不登校・発達・子育て・進路・対人関係など、青少年に関する相談を直接（面接）または電話で行うことができます。



1 面接相談

◎相談受付時間…午前9時～午後5時 月～金曜日（祝祭日を除く）Tel951-3440

「はばたき だより」4月号より

本年度も、当センターの相談業務及び専門家の知見啓発を目的に「はばたき だより」を年6回発行（偶数月）していきます。ついては、本日より、記事の一部を転載していきます。

今年度の相談指導学級（はばたき教室）は、「スタディールーム」と「わくわくルーム」に分かれて行います。スタディールームでは、教科書の学習や読書、イラスト描画、パズル、オンライン学習など、自分で決めた課題に取り組みます。わくわくルームでは、興味や関心に応じた活動を楽しみながら進めることができます。お子様のことで気になることがありましたら、電話で面接相談をお申し込みください。

2 電話相談（愛称：やまびこ電話 951-7330）

◎相談受付時間……午前10時～午後7時 月～金曜日（祝日を除く）



情報コーナー

「何か不安なこと、悩んでいることはありませんか」

相談指導学級の機能拡充として、「わくわくルーム」を設置しました。多様な子どもたちを受け入れ、安心して自分らしく過ごせる場所です。子どもたちは、会話を楽しんだり、音楽を聴いたり、ゲームをしたりしながら、まずは青少年教育センターで楽しい時間を過ごすことを大切にします。その中で、少しずつエネルギーを回復しながら、相談員と一緒に無理のないペースで活動に取り組んでいけるように支援していきます。

＜相談の流れ＞

①電話で連絡（055-951-3440）



②初回面接

※センターへお越しいただきます。

↓専任の相談員がお話を伺う
中で解決に向けたお手伝いをします。

③お子さんに応じた支援を実施

面接相談

お子さんもしくは保護者と相談員との1回1時間程度の面接を定期的に継続します。

体験活動「はばたき」

小集団での体験活動（創作、運動、調理、レクなど）を通して自立心や社会性を養います。

相談指導学級「はばたき教室」

自分で立てた計画に基づき、日課に沿って過ごします。利用には見学と体験が必要です。

9:00	開所
9:00～9:50	活動1
10:00～10:50	活動2
11:00～11:50	活動3・ふれあい
12:00～13:00	昼食・休憩
13:00～13:50	活動4
14:00～14:50	活動5
15:00～15:50	活動6
16:00	閉所

◎お子さんのことで気がかりなことがありましたら、電話で面接相談をお申し込みください。

☎055-951-3440*月～金9:00～17:00

*電話相談「やまびこ電話」
（匿名相談を受付）もごさいます。ぜひご利用ください。

☎055-951-7330*月～金10:00～19:00
秘密は厳守します。お気軽にご相談ください。



【はばたき】 【相談指導学級】 の様子

【体験活動「はばたき」】

(通称：はばたき活動)

- 1 / 9 (木) 新春お楽しみ会 (4人)
1 / 22 (水) ペーパークラフト&なぞり絵を楽しもう (4人)
2 / 6 (木) 大道芸に挑戦 (6人)
2 / 19 (水) 楽しく身体を動かそう (5人)
3 / 7 (金) 静岡科学館る・く・るに行こう (8人)

はばたき活動は、1対1の面接相談とは違い、他の通所生や担当以外の職員とも関わる小集団活動です。

昨年度1月の「新春お楽しみ会」では、トランプや坊主めくり、すごろくといったお正月らしい遊びで子供たちのはしゃいだ姿を見ることができました。

「大道芸に挑戦」では、皿回しやけん玉、バルーンアートに挑戦し、子供たちの集中する姿を見ることができました。

「静岡科学館る・く・るに行こう」では、最後のはばたき活動となり、子供たちは、いろいろな科学実験に触れて楽しい思い出を作ることができました。



【3/7 静岡科学館る・く・る】

【相談指導学級】(通称：はばたき教室)

卒業を間近に控えた3月、中学校3年生の女子が、突然「何事も諦めず繰り返しやるのが大事なんですね。」と話しかけてくれました。「ふれあい」では、子供たちに達成感・成就感を享受してほしいと、ジャグリングや皿回し、けん玉をやる時間を設定しました。そのことを回想しての話です。どれも難しいですが、ことにジャグリングは難易度が高く、進歩が感じられないばかりか、一歩前進二歩後退の日もあります。それでもやっているうちに6回以上続けられる子が現れてきます。その時には大きな歓声が起こり、できた子はとてもうれしそうな表情を浮かべます。後から聞いた話ですが、彼女はお手製のボールを作り自宅でも練習したそうです。また、他にもテニスボールを代用し練習した子もいます。学習の時間・ふれあいの時間を通して、『努力が実を結ぶことを実感し自分自身を認める機会』にしてもらえていたようでうれしい限りです。なお、上記の女子は、春から高校生として大きな一歩を踏み出すことになっています。新しい環境でも、きっと頑張ってくれるものと思います。

はばたき教室も、ここで通級する児童生徒の顔ぶれは変わりますが、各自がエネルギーを伸ばし希望する進路に向けて歩いていけるよう、今まで以上に支援に努めて参ります。

青少年教育センターの活動予定 (5～7月の主な活動) *天候等により、変更することがあります。

はばたき活動		補導関係	
5月8日(木)	犬塚公園で遊ぼう	5月9日(金)	補導委員会代表者会
5月20日(火)	びゅうおに行こう	5月12日(月)	新任補導委員研修会
6月12日(木)	点つなぎに挑戦	5月15日(木)	〃
6月25日(水)	佐野美術館に行こう	6月13日(金)	補導委員会代表者会
7月10日(木)	アイロンピースに挑戦	7月1日(火)	夏季一斉少年補導、立入調査
6月23日(月)	そよかぜ	7月14日(月)	青少年被害・非行防止街頭キャンペーン
中央街頭補導		7月26日(土)	沼津夏まつり特別補導
5月 14(水) 20(火) 21(水) 27(火)		7月27日(日)	〃
6月 4(水) 6(金) 10(火) 17(火) 18(水) 20(金) 24(火) 25(水)			
7月 9(水) 11(金) 15(火) 16(水) 18(金) 23(水)			



補導記録簿より 1月～3月

- ・ストリートスポーツパークでは、多くの若者がバスケットやスケボーで汗を流していた。
- ・自転車の高校生は、おおむね悪くない運転だった。
- ・沼津駅南に複数のカード買取店があり、土日は多くの小中高生でにぎわっている。
- ・午後7時過ぎに、御成橋付近や狩野川土手、公園などで高校生カップルを多く見かけた。
- ・公立高校合格発表の日には、仲見世やイーラde、駅などで、保護者と一緒の中学生の笑顔をたくさん見ることができた。
- ・市内にある複数のゲームセンターで、多くの小中高生に、被害防止に関する注意喚起の声かけを行った。
- ・1年を通じて、補導対象者はいなかった。各店舗の方々には、補導活動への理解と子供たちの見守りの協力をお願いしてきた。



【1/24 地区補導を語る会】

補 導 の 目



地域補導活動の現状と未来に伝えたいこと

第五地区補導部長 芹澤 豊光

地域補導活動は、子どもたちにとって温かい支援を提供することが求められます。地域社会は、家族や学校だけでなく、地域住民やボランティアが協力し合い、子どもたちが健全に育つための環境を整える役割を担っています。地域の大人たちが子どもたちに対して関心を持ち、見守り、声をかけ、助けることは、子どもたちにとっての大きな支えとなります。

第五地区の地域補導活動においては、休日の午後3時から4時の時間帯で活動することで、子どもたちとの出会いを重視しております。また、子どもたちと地域社会とのつながりを深めることを目的とし、第五地区で推進している「子どもの居場所作り」として、様々な行事に少年補導として子どもたちを見守る立場で活動の援助を行っております。

子どもたちは、地域社会の中で、他者との協力や共感を学び、社会的なスキルを育むことができます。地域の人々と交流することで、社会的な責任感や地域への愛も育まれます。そのためには、地域社会全体が子どもたちの多様なニーズに対応する柔軟性が必要です。もちろん、地域補導活動は一律ではなく、個別の支援を行うことも大切です。地域の資源を活用し、子どもたちの特性に応じた支援を提供することで、より効果的にサ

ポートができると思います。地域補導活動においては、長期的な視点を持つことも大切です。大人たちが信頼関係を見据え、長期的な視点で子どもたちを見守り続けることで、子どもたちが安心して成長できる環境を得ることが必要であると思います。

地域補導活動は、現状の支援にとどまらず、子どもたちの未来に大きな力となると思います。子どもたちを見守り、支えることは、未来の社会に向けて地域にこだわらず、人々が共に取り組み、子どものために考え、行動することが求められます。

